

## OS リソース資源の使用状況の定期的記録し、出力する方法

OSWbb ツール OS リソース資源 **リソース資源定期的使用状況記録保存**

OSWbba ツール OS リソース資源 **グラフ表示と分析と CSV 出力変換**

### OSWatcher Black Box ユーティリティの特徴

OSWatcher ユーティリティは、OS のリソース使用状況を保存記録して、取得したデータをグラフ化、分析、および CSV ファイルへの出力変換を行うためのユーティリティ・プログラムです

なお、OSWatcher ユーティリティは、リソース資源の**使用状況を定期的に取得**しデータ**保存**する OSWbb ツールと、

記録した保存データを**グラフ表示、データ分析、CSV ファイルへの出力変換**を行う OSWbba ツールの 2 つから構成されています

- ・ OSWbb ツール OS リソース資源 **リソース資源定期的使用状況記録保存**
- ・ OSWbba ツール OS リソース資源 **グラフ表示と分析と CSV 出力変換**

### OSWbb ツールの機能について

OSWbb ツールでは、以下のコマンドが内部で実行され、OS リソースの使用状況を定期的に記録保存されます

なお、データの保存形式は、OSWbb 独自の専用形式なので、OSWbba ツール以外では使用できません

内部で動作させられるコマンドと取得されるデータ

内部動作コマンド	取得されるデータ
ps	現在実行されているプロセスに関する情報
top	システムのリアルタイム情報
ipconfig	現在動作しているネットワーク・カードに関する情報
mpstat	CPU に関する統計情報
iostat	デバイスの I/O 関連の統計情報
netstat	ネットワーク関連の統計情報
traceroute	Private Network に関連する情報
vmstat	仮想メモリに関連する情報
meminfo	OS メモリ情報に関連する情報
slabinfo	スラブレベルのメモリ情報に関連する情報

Linux 環境のみ

## OSWatcher Black Box ユーティリティの動作環境と使用注意

- Unix と Linux 環境でしか動作しない
- 保存データが圧縮されている場合には、分析対象外となる  
未圧縮の部分のデータのみが分析される  
グラフ化については、圧縮されているデータでも表示される

## OSWatcher Black Box ユーティリティ設定方法

Oracle 社ホームページの「OSWatcher」に関するページからダウンロードして使用する

Doc ID 1509957.1

## OSWbb ツールの使用方法

```
# ./startOSwbb.sh <情報取得間隔（秒）> <アーカイブ間隔（時）>  
                  <圧縮形式の指定> <取得データの保存先ディレクトリ名>
```

使用例)

```
# ./startOSwbb.sh 5 1 gzip ./arch  
-- 5 秒間隔で取得、1 時間ごとに gzip 形式で圧縮、保存先は、arch ディレクトリ
```

## OSWbba ツールの機能について

OSWbba ツールでは、OSWbb ツールで記録した保存データを**グラフ表示**、**データ分析**、**CSV ファイルへの出力変換**を行います

OSWbba ツールを起動すると、処理できる機能の一覧が表示され、その中から番号やアルファベットで選んで処理実行します

表示される機能の一覧

- Enter 1 to Display CPU Process Queue Graphs
- Enter 2 to Display CPU Utilization Graphs
- Enter 3 to Display CPU Other Graphs
- Enter 4 to Display Memory Graphs
- Enter 5 to Display Disk IO Graphs
- Enter 6 to Generate All CPU Gif Files
- Enter 7 to Generate All Memory Gif Files
- Enter 8 to Generate All Disk Gif Files
- Enter L to Specify Alternate Location of Gif Directory
- Enter T to Alter Graph Time Scale Only (Does not change analysis dataset)

グラフ表示

グラフの描画期間を変更

- Enter D to Return to Default Graph Time Scale
- Enter R to Remove Currently Displayed Graphs
- Enter A to Analyze Data

取得情報を**調査分析**し、結果を出力( 出力先は analysis ).

※ 圧縮された部分のデータは、分析対象外となってしまう

- Enter S to Analyze Subset of Data ( Changes analysis dataset including graph time scale)

- Enter P to Generate A Profile

レポートを出力( 出力先は profile)

- Enter X to Export Parsed Data to File

取得情報の一部を **CSV 出力**( 出力先は data)

- Enter Q to Quit Program

# OSWbba ツール の 使用 方法

```
# java -jar oswbba.jar -i <取得データの保存先ディレクトリ名>
```

使用例)

```
# java -jar oswbba.jar -i /.arch
```

Starting OSW Analyzer V7.3.1

OSWatcher Analyzer Written by Oracle Center of Expertise

上記の選択メニューが表示される

Please select an option : ← 処理するための 番号 or アルファベット  
を入力

1 を選択した時の結果 (CPU 実行プロセス数と CPU 割当て待ちプロセス数)

## I. Operating System CPU Queues

The following graphs show operating system run queue, processes blocked for resources queue and processes swapped queue. Not all Operating this section may be missing.

